

効果概要:「谷川池」では、堤体の補強や洪水吐きの流下能力向上を図るための整備を実施。令和4年台風15号に伴う大雨時(110mm/h)において、洪水を安全に流下させることにより、決壊等による被害を防止。

府省庁名:農林水産省

- 実施主体:静岡県
- 対象施設:谷川池

■ 対策の概要及び事業費:

洪水吐き越流幅を1.9mから2.6mへと拡大し、流下能力を0.67m³/sから1.97m³/sへと強化(約2.9倍)。

事業名	事業費	対策期間
農村地域防災減災事業	1億1100万円	H27~R元
うち3か年緊急対策	1500万円	H30~R元

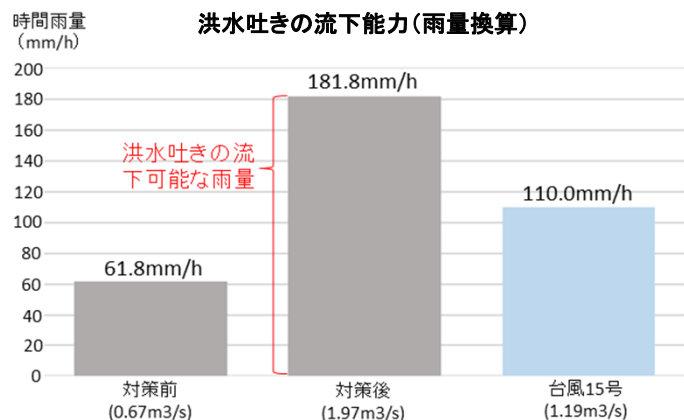
対策の効果

対策前

- 洪水吐きの流下能力が不足しているため、大雨時に洪水が堤体を越流し、ため池が決壊することで、下流側の住宅約70戸に被害を与える懸念があった。

対策後

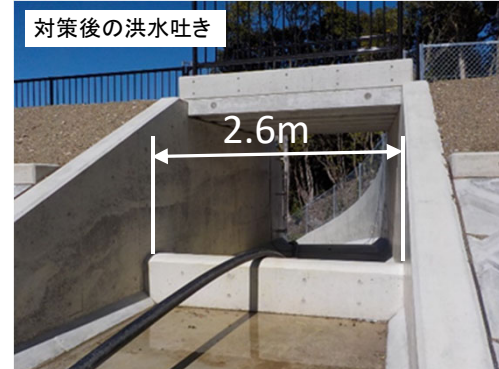
- 洪水吐きの流下能力を大幅に強化
- 台風15号に伴う大雨(110mm/h)においても被害なし



対策前(61.8mm/hの流下能力)



対策後(110mm/hの降雨でも被害なし)



防災工事